

製品名: イオンチャネル型グルタミン酸受容体2 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe03747

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.17mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 99 kDa; Observed MW: 99 kDa

抗原情報

遺伝子名	GRIA2
別名	GRIA2; GLUR2; Glutamate receptor 2; GluR-2; AMPA-selective glutamate receptor 2; GluR-B; GluR-K2; Glutamate receptor ionotropic; AMPA 2; GluA2
遺伝子 ID	2891
SwissProt ID	P42262
免疫原	ヒトイオンチャネル型グルタミン酸受容体2の合成ペプチド

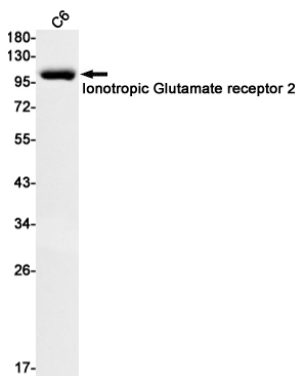
背景

イオンチャンネル型グルタミン酸受容体。L-グルタミン酸は、中枢神経系の多くのシナプスにおいて興奮性神経伝達物質として作用する。興奮性神経伝達物質 L-グルタミン酸の結合は、構造変化を誘導し、陽イオンチャンネルの開口を招き、化学シグナルを電気インパルスに変換する。その後、受容体は急速に脱感作し、結合したアゴニストの存在を特徴とする一時的な不活性状態に移行する。

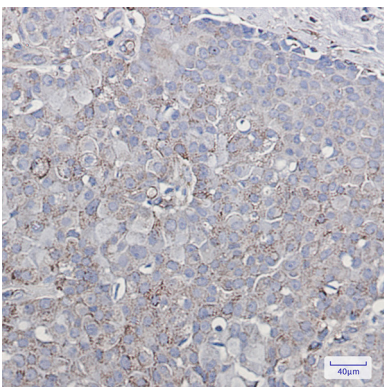
研究分野

神経科学

画像データ



イオンチャンネル型グルタミン酸受容体 2 抗体を使用した C6 溶解物中のイオンチャンネル型グルタミン酸受容体 2 のウエスタン プロット分析。



イオンチャンネル型グルタミン酸受容体 2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。